

20 年 月 日

独立行政法人国際協力機構

資金協力業務部

部長 様

\*\*\*株式会社  
\*\*\*部長  
\*\*\*  
(社 判) (職名印)

## 平成\*\*年度\*\*\*\*\*\*計画に係る「設計等の変更」について

標記計画につき、詳細設計から設計等の変更を行う必要が生じたところ、「無償資金協力調達ガイドライン(The Procurement Guidelines of the Japanese Grant Aid (Type I-G))」にもとづき、先方実施機関からの設計変更に係る要請書を送付しますので、よろしく取り計らい願います。

なお、設計等の変更についてのコンサルタントの技術的見解は、別紙のとおりです。

別添:先方からの設計変更に係る要請書

## 要請内容に対するコンサルタントの技術的見解

1. 変更内容(必要有れば図面等も添付する)

変更内容は以下のとおりです。

※ 「大規模な設計変更」のみならず、軽微な変更も含め、概略設計から変更が行われる点については全て記載

2. 変更理由

3. コンサルタントの技術的見解

※ 設計変更については、概略設計の基本構想の範囲内で行われる必要があり、必要性、妥当性については単に状況の変化が生じたというような安易な説明を避け、なぜその変更を行うことが妥当であるのか詳細に記述。また、O/D及びD/Dの内容と矛盾が生じないか、O/Dのコンセプトを否定するものではないか十分注意。

4. 積算根拠

※ 変更項目、数量、単位、金額、積算根拠(必要有れば、概略設計時の)を示すこと。なお、変更項目が多数の場合、一覧表にまとめる。

5. 契約金額修正の必要性の有無

6. 要請内容の妥当性

以上のとおり、要請内容を詳細に検討した結果、コンサルタントとしては要請内容は妥当であると判断します。